

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業

※本交付金は、自治体による観光や農林水産業等に関わる地方創生に資する取組に対して国が財政支援。本事業の採択要件として外部による効果検証の実施

事業概要

- ・令和6年度事業費 55,420千円 令和6年度採択額（国費） 27,710千円
- ・事業計画期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日

地方創生を実現するための構造的な課題

- ・「雪質日本一」を標ぼうするスノーリゾートもあるが、あくまで感覚的なもので、雪質の定量化の手法は確立されていない。今後、エビデンスを伴うプロモーション手法を確立し、他地域との差別化と、誘客につなげる。
- ・地球温暖化から世界のスノーリゾートでの雪不足、雪の湿雪化の問題が発生しており、温暖化の進行抑制のため、市民一人ひとりの脱炭素化への行動変容が必要であり、ゼロカーボンシティ実現に向けた市内の機運醸成が必要である。
- ・市民生活とスキー場との乖離する状況を鑑み、市内のスキー人口及びスノーアクティビティへの熱量増加という行動変容につなげる。

事業目的

富良野盆地が生み出す良質なパウダースノーを“bonchi powder”としてブランディング、誘客につなげる。くわえて、市民の親雪、利雪の機会を増やし、気候変動に対し、ゼロカーボンシティ運動にまちあげて取り組み、シビックプライドの醸成と、取組へ共感する人との交流／定住の拡大へつなげ、経済の循環と、働き手の確保、雪国の生活文化の継承を図り、持続可能かつ「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」のスノーリゾート都市をめざす。



具体的な取組内容



定量化へ向けた調査

- ・パウダースノー実証事業費（商工）
共同研究、集中観測ほか

エビデンスの共有

- ・パウダースノー実証事業費（商工）
ツーリズムEXPO、シンポジウムほか

こどものスキー教育推進事業

- ・小中学校スキー授業経費（教育）
- ・子どもスキー技術向上支援事業費（教育）
中学生リフト使用料ほか

地元スキー人口の増加に寄与する取組

- ・スキーライフ応援事業費（コミュニティ推進課）

経済規模の維持に向けた働き手の確保

- ・雇用促進事業費（商工）
ふらのジョブスタイル（HP）運営費

移住定住を促す支援

- ・新規就業移住支援金交付事業費（商工）

親雪利雪イベントの実施

- ・スノーファンタジー推進協議会補助金（商工）

持続可能な観光地域づくり

- ・持続可能な観光地形成事業（商工）
ごみ分別PRパネル作成ほか

ゼロカーボンシティの推進

- ・環境保全対策事務費（環境）
ゼロカーボン展示会、フリーマーケットほか

プロモーション

- ・パウダースノー実証事業費（商工）
ライブカメラ設置業務委託
- ・ふらの版DMO推進事業費（商工）
- ・外国人観光客誘致対策事業費（商工）
インバウンド誘致推進員の人件費
- ・北海道スキープロモーション協議会負担金（商工）

事業実績 (KPI) について

	KPIの名称	事業開始前	1年目 (令和5年度)		2年目中間実績 (1月20日現在)	備考
			目標値	実績値 (事業開始前実績と令和5年度の実績の合算)		
KPI 1	冬期間 (12月-3月) のプリンスリゾートエリアの入込客数	115,710人	75,000人	256,500人	—	
KPI 2	この事業を通じて移住・定住した生産年齢人口	0人	10人	0人	18人	令和5年度は事業未実施、令和6年度実施
KPI 3	市民環境意識調査の「地球温暖化防止のための取組」について「重要である」と回答した割合	60.3%	2.5%	66.3%	—	
KPI 4	Instagram furano bonchi powder アカウントのフォロワー数	105人	1,000人	1,020	1,475人	

※目標値は増加分を設定

・KPI 2「新規就業移住支援交付事業」

中小企業等における人手不足の解消及び移住定住を促進するため、市内事業所に就業する方を対象に最大100万円を補助。

当初計画 10人想定 1月20日現在の申請件数 18人